特定非営利活動法人アジア人文文化交流促進協会

事業名

「ご近所」の力を活かし、短期と長期サポートの組み合わせをもって、外国人住民の情報不足と孤立を解決する（OFPとSOFP）

取組内容

①外国人住民と地域住民をマッチングし、顔の見えるリアルな信頼関係を築き日本社会になじむ「おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム」（OFP）、日常生活の困り事を同行して解決する「スポットおとなりさん」（SOFP）を実施。加えて、②外国ルーツの子供の学習支援、③妊婦向け多言語ワークショップを開催。

子育て現役世代が4割、社会人3割、学生が2割、難民・避難民などが1割。アジアを中心に40か国を超える外国人住民が参加している。
スポットおとなりさん（SFOP）は医療、教育、行政手続き、税務相談、生活インフラ、免許切替手続きなど多岐にわたる支援を実現。

◆事業期間

令和７年４月１日～
令和８年３月31日

◆ 実績（人数・件数等）

①説明会67回開催、ペア成立数:64組
　SFOPでの現地同行サポート11件
②学習者延べ76名
③参加者延べ10か国27名



ペア活動の様子

効　果

・日本の文化・生活に馴染むことができ、暮らしの中の課題を解決することができた
・子供が楽しみながら日本語の基礎を身につけることができた
・日本での出産に安心感を与えることができた

事業を振り返って　理事兼事務局長　楊（ヤン）　淼（ミャオ）さん



はなまるクラスの様子

外国人に関する誤解や偽情報が広がる中でも、活動に共感・参加してくれる日本人ボランティアは多く、とても励まされました。また外国人参加者も日本人と繋がりたい、日本に馴染みたいという思いが強く、改めてこの活動の意義を強く感じました。今後も自治体や企業などとの連携強化を図りながら取り組みを広げていきます。